

# かわらばん

「日進市わたしのまちのしあわせづくり新聞」第2号

事務局／日進市 福祉部福祉課・社会福祉協議会  
TEL (0561) 73-1643(直通) FAX (0561) 72-4554  
MAIL : fukushi@city.nisshin.lg.jp  
HOME : <http://www.city.nisshin.lg.jp/>

- 「日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会」とかわらばんへのご意見・ご感想をメール・電話・FAXで募集します。
- どんどんお寄せください。お待ちしております。

## 第2次地域福祉計画・第4次地域福祉活動計画の検討が本格化しています。

みなさんこんにちは！

地域福祉計画・活動計画を検討する「日進市わたしのまちのしあわせづくり委員会」は、方針案を検討する「プロジェクト会議」、活動案を検討する「わたしのまちのサポーター会議」によって構成されています。それぞれの会議の検討が本格化しています。

## プロジェクト会議・サポーター会議における検討。

プロジェクト会議では第3回目の会議を開催しました。また、関連する各課と連携・協議し、具体的な方針案の内容について検討しています。

サポーター会議では「ほっとカフェ」や「ぷらっとホーム」福祉事業所の見学を行い、実際に活動が行われている様子を肌で感じました。そして、第4・5回目の会議では、具体的な地域福祉について活動案の検討を進めています。

「ぷらっとホーム」の見学にきました。「にしんテレビ」の取材もありましたよ。



いよいよ具体的な方針案や活動案を考えていく作業に入りました。

## <プロジェクト会議>

### 第3回

### 2014. 7. 3



第3回目は、「広げた風呂敷をギョツとしばって考えます！」意見を収束へ」と題して開催。まずは事務局から、市(福祉課)と社会福祉協議会が重要視する問題点や課題、今後の展開案などについて説明をしました。

その後、「A. 地域福祉の活動の輪をひろげます」「B. 地域福祉の活動をささえます」「C. 地域福祉の活動をつなぎ、大きな力に育てます」の3つのテーマに分かれてグループワークを行いました。事務局の考えや、第2回プロジェクト会議の意見を踏まえ、具体的な内容について話し合いました。

具体的に掘り下げた議論ができ、有意義でした。できることから行っていくことが大切です。

### グループワーク=意見を具体的に検討しよう

**Aグループ. 地域福祉の活動の輪をひろげます。**  
分かりやすい案内、窓口が必要。(困っている人をコーディネートする人が必要。)／福祉総合窓口の設置(ワンストップ)(各種制度を越えた共通の入り口)が必要。／それぞれの課でもっている委員会の再編を考えてはどうか。



ワークライフシナジー、仕事と生活を分けるのではなく相乗効果をもたらす活動として地域から提案することで、地域で活動する人が増え、人材育成へとつながる。／地域のネットワークをつなげて活かしていく。／人事政策、ゼネラリスト育成から、スペシャリスト育成の視点が必要。など。

### Bグループ. 地域福祉の活動を支えます。

既存ボランティア組織を活用した、人材育成を行うとよいのではないかと。／既存ボランティア組織同士をつなげることも必要。／退職者を各地域に任用し、自治会や民生委員をサポートしてはどうか？／地域ごとに異なる問題を、話しあう場、気づきあう場があるとよい。



普段は違う活動をしている、いざというとき災害に対応できるとよい。／次計画も見通した長期的視点でないと、小学校区での自立は難しいのではないかと。／ぷらっとホーム、ほっとカフェ、公民館をもっと利用すると良いのではないかと。など。

### Cグループ. 地域福祉の活動をつなぎ、大きな力に育てます。

大学を含めた地域連携をより上手くすすめる。／システムだけ作るのではなく、動くためのしかけが必要。／とにかくみんなが場所の使い方や資源、登録の仕方等を知る必要がある。／まず場にてできてもらうこと、家から連れ出すことが大切である。／つなぎのきっかけづくりが大切。



鳴子踊りやにしん体操などのテーマでつなぐきっかけをつくる。／地縁型組織とテーマ型組織のマッチングが難しい。(どう関わったらいいのか分からない。)/小学校を活用し、子どもを動かすことで3世代が動く。／学校は交流の場として使えるのではないかと。など。

← 裏面へ続く



＜わたしのまちのサポーター会議＞

第3回

2014. 6. 21



皆さんの熱い想いを聞くことができ、大変勉強になりました。行政や地方自治体等ができること以外に市民が願っている事が多くあり、その間を埋めることが求められているような気がしました。

第3回目は「実際に活動がなされている現場をみんなで勉強しよう」と題して開催しました。前半は「リビングサポーターあいの家」の見学を行い、実際に本市ではどんな活動が行われているのかを学びました。後半は、実際に活動を展開している委員の方に活動を始めたきっかけや活動の内容、苦労していること等、「生の声」を聞かせていただきました。

有志見学会

2014. 6. 5 & 10



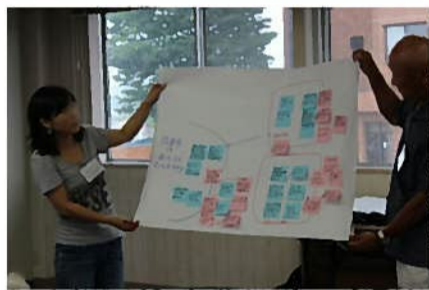
6月5日、10日に有志参加者を募って、「ほっとカフェ」と「ぶらっとホーム」の見学を行いました。「御岳ほっとカフェ」「南ヶ丘ぶらっとホーム」「岩崎台ぶらっとホーム」の3つの施設におじゃましました。その日行われていた施設の活動を見せていただいた後、代表の方に、活動内容・今後の課題などについてお話を聞きました。どの施設も様々な活動をしており、そこで活動している方々は、みんなキキキしていました。

グループワーク=課題の抽出、課題の解決に向けて考える

◎課題

市内に良い例が多数あるため、横に展開を。／大学が多い地域であるが学生たちの活動を上手く継続させていく仕組みがない。など。

Aグループ



◎解決案

市と社協で現存する事業の見学会を企画・開催する。／若い人も入り込みやすい雰囲気をつくる。など。

◎課題

各団体の横のつながりがない。／活動をするための資金が必要。／活動の担い手がない。／人材の情報が少ない。など。

Bグループ



◎解決案

社協につながりをコーディネートしてほしい。／市民活動ファンドを設立。／にぎわい交流館と社協の人材情報の共有。／人材バンク。など。

第4回目は「熱い想いを実現へ！さあ、どんな活動を進めていけばよいか」と題して開催。サポーター会議も残り半分となったため、「地域福祉」、「地域福祉計画」等の定義を再確認した後、「A. 地域福祉の活動をひろげます」「B. 地域福祉の活動をささえます」「C. 地域福祉の活動をつなぎ、大きな力に育てます」の3つのテーマに分かれてグループワークを行いました。グループワークの前半は課題をみつけ、後半で課題の解決案を話し合いました。A, B, Cグループには共通の課題があることも発見できました。

第4回

2014. 7. 19



◎課題

福祉団体の横のつながりが少ない。／役割分担が分からない。／つなぎ役になるキーパーソンの育成。／市民が一步出るのが難しい。など。

Cグループ



◎解決案

既存の組織の活性化。／地域福祉コーディネーター役が必要。／ひとりひとりの関わり方の負担をかけない方法の確立。など。

グループワーク=どんな活動が望まれるかな？活動のために必要なコトって？

◎地域福祉を推進する、コーディネーターを配置する  
内容：地域が抱える福祉問題を解決するためには、各団体や人をつなぐ役割の人が必要。個々の困難ケースに対しても適切な人と連携して解決につなげる。  
人：コミュニティ・ソーシャルワークを学んだ方。または、市の若手職員で研修を積んだ方。など。  
時：決められた時間の範囲内。で。(最低週3日くらい)  
場所：各地区の公共施設等  
仕組み：小学校区ごとの各拠点にコーディネーターを配置する。など。

Aグループ



◎移動型ボランティア相談窓口  
内容：ボランティアをやりたい人と求める人をマッチングさせる。ボランティアをやりたい人のサポートを行う。(相談など)  
ボランティアをやる人への指導を行う。掲示板での情報提供を行う。  
時：休日(定期的に)  
場所：図書館などの若い人が集まる場所  
仕組み：今あるボランティア相談窓口(火曜日)を中心に活動する。など。

Bグループ



第5回目は「活動のために必要なコトをさらに具体的に考えてみよう」と題して開催。第4回目で話し合った「課題」や「解決案」をおさらいした後、「A. 地域福祉の活動をひろげます」「B. 地域福祉の活動をささえます」「C. 地域福祉の活動をつなぎ、大きな力に育てます」の3つのテーマに分かれてグループワークを行いました。地域の福祉に関する活動をするためには何が必要なのか、「だれが(人)」「いつ(時)」「どこで(場所)」「どうやって(仕組み)」やればよいかを話し合いました。

第5回

2014. 8. 16



◎地域福祉を推進する、コーディネーターを配置する  
内容：地域の問題は自分たちの問題だと認識してもらおう。自分の力が地域の力になると実感できる場。自分たちの地域課題を他地域に発信し、さらなるつながりをもたせる。  
人：立ち上げには行政・社協(=信頼の力)に携わってもらおう。運営はその地域の住民が中心となる。  
時：すぐに  
場所：小学校区(範囲)  
仕組み：若い世代を含め「次も参加しよう」「ずっと携わりたい」と思えるような場にする。など。

Cグループ

